

五泉市 議会だより



第83号

令和8年
10月26日

■発行／五泉市議会 ■編集／広報委員会 ■議会事務局／〒959-1692 新潟県五泉市太田1094番地1
TEL.0250-43-3911（内線370） FAX.0250-43-2716

五泉八幡宮 秋季祭礼 「厄年神輿」



◆目次	ページ
第3回 9月定例会	2
委員会審査報告	
総務文教常任委員会	3
市民厚生常任委員会	3
建設産業常任委員会	4
特別委員会の設置	4
一般質問	
11人が市政を問う	5～8
当局報告	9
発議	9
令和7年度決算の概要	10
主な議案の議決結果	11
編集後記	12

最終日に追加議案として提出された、強風による農作物被害に係る補正予算、議員発議による議会改革調査特別委員会の設置が可決されました。

近年は、災害級の酷暑や豪雨、突風などで被害が発生しております。災害はいつどこで起こるか分かりません。災害時の被害を小さくするための事前の防災・減災の取り組み、災害に対する「備え」と「対策」が極めて重要となります。日ごろから災害への対策についても意識を持ち、五泉市議会も安心・安全なまちづくりに寄与してまいります。

熊本県熊本地方を震源とする「令和8年熊本地震」及び「令和8年8月千葉豪雨」をはじめ各地で発生した豪雨災害や台風被害により、犠牲になられた方々には衷心よりご冥福をお祈りいたします。

被災された方々には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い被害の収束と復興が図られるよう願っています。

さて、令和8年第3回9月定例会では、令和7年度会計決算の認定や、条例の一部改正及び令和8年度会計補正予算など全部で24件の議案が審議されました。

議長室から



議長
林

茂

令和8年 第3回

9月 定例会

令和7年度各会計決算の認定、 令和8年度各会計補正予算等26議案を審議

令和8年第3回9月定例会が9月2日に招集され、9月18日までの17日間の会期で開催されました。

初日の2日は、会期の決定、議長報告、当局報告、市政一般に関する質問の一部を行いました。

2日目の3日は、引き続き市政一般に関する質問を全て行い、議案23件を一括議題として当局の提案説明を行い、議案に対する質疑後各常任委員会に付託しました。

最終日の18日は、委員会付託案件について各常任委員会の審査報告に続いて討論、採決が行われ、それぞれ認定・可決しました。その後、日程追加された市長からの追加議案1件、議員発議2件、議員派遣を審議・採決して閉会しました。

9月定例会の日程

月 日	内 容
9月2日(水)	本会議（開会、会期決定、議長報告、当局報告、一般質問）
3日(木)	本会議（一般質問、議案上程、質疑、委員会付託）
8日(火)	総務文教常任委員会、市民厚生常任委員会
9日(水)	建設産業常任委員会
10日(木)	総務文教常任委員会、市民厚生常任委員会
11日(金)	建設産業常任委員会
18日(金)	本会議（委員会審査報告・採決、議案審議・採決、閉会）

総務文教常任委員会 審査報告

(主な質疑)

◎佐藤 渉 林 茂 鈴木 良民 鶴巻 裕子
○魚野 洋樹 阿部 周夫 佐藤 良徳

令和7年度一般会計決算 移動図書館事業について

【図書館】

問 令和7年度は令和6年度と比べて貸出実績はどうだったか
伺う。

答 貸出者数は、令和6年度が446名、7年度が511名であり、65名増えています。貸出点数は、令和6年度が1,386冊で、7年度が1,507冊であり、121冊増えている状況です。

問 今年度で事業を終了することについて伺う。

答 図書の貸出しが本来の目的ではなく、本を貸し出すことを活用しながら、地域の皆様の要望はどういうものがあるかということの把握を目指して始めた事業です。しかしながら、要望意見回収箱を置くなどいろいろ工夫をしましたが、現在は地域の声が届かない状況もあり、実証事業として4年が終わる今年度をもって終了するものです。

五泉市認可地縁団体印鑑 条例の一部を改正する条 例の制定について

【総務課】

問 認可地縁団体の概念について伺う。

答 町または字の区域、その他市町村内の一定の区域に住所を有する者の地縁に基づいて形成された団体のことであり、市長の認可を受けたものが認可地縁団体です。

問 市内に何団体あるのか伺う。

答 五泉市での登録状況は、58件となっています。

問 具体的にどういった団体なのか伺う。

答 主なるものは、その区域ごとに町内会であるとか、自治会といった名称がつけられている団体です。

(◎委員長 ○副委員長)

市民厚生常任委員会 審査報告

(主な質疑)

◎白井 妙子 羽下 貢 山田 正良 阪井 明子
○熊倉 政一 波塚 静亮 小林 泰訓

令和7年度一般会計決算(総合戦略)がん予防 事業について

【健康福祉課】

問 検診受診率が横ばいとのことだが、尿で調べるタイプの検査であれば自宅で手軽にできる。そういった検査を視野に入れていく考えはあるか伺う。

答 血液や尿からがん細胞が出す物質を特定し検査するという方法がありますが、国から指示されている検診に活用できる状況ではないです。今後検討の対象にはなりますが、現状は市で実施する状況にはないと考えています。

問 膵臓がんについては、市のがん検診の項目にないが、発見が難しく、五泉市でも死亡率が女性では毎年上位とのことである。国の指示を待つことなく、早めのがん検診の対象にできないか伺う。

答 国から膵臓がん検診の項目が示されていないため踏み込むことが難しいですが、今後とも検討は続けていきたいと考えています。

令和8年度五泉市国民 健康保険特別会計補正 予算(第2号)について

【市民課】

問 今年、国民健康保険税の税率が引き下げられた。今回の補正で財政調整基金積立金を2億円近く積み増すとのことだが、基金を活用してもっと税率を下げるような検討はしているか伺う。

答 税率改正をしたときに基金を活用して保険税を下げることにしていました。農業所得がかなり増加したため、減税効果が非常に少なく、現状では基金を活用する必要がなくなりました。とはいえ、本来、基金を活用して被保険者の負担軽減を図ることを目的としているので、さらに税率の見直しができないか検討しています。

要望 農業所得が今年も上がるか分からないので、長期的なものでないという部分も加味して保険制度の継続のためにしっかりと負担軽減を図っていただきたい。

(◎委員長 ○副委員長)

建設産業常任委員会 審査報告

(主な質疑)

担い手育成事業について

【農林課】

問 省エネルギー対応農業生産条件整備支援事業補助金は、生産コストを低減し農業経営の安定化を図るため、また地域計画実践支援事業補助金は、地域計画の実行性を確保するため、それぞれ必要な機械や施設の整備について支援を行うもので、市内の1農業法人が購入するコンバインと乾燥機に対して補助するものであるとのことだが、市内に農業法人は幾つあるのか伺う。

答 18法人です。

農作物生産推進事業について

【農林課】

問 猿害対策等事業補助金について、有害鳥獣の被害防止対策を図るもので、農家等からの要望が多いとのことだが、出没状況と被害額について伺う。

◎深井 邦彦 剣持 雄吾 桑原 一憲
○佐藤 浩 長谷川政弘 大橋 建太

(◎委員長 ○副委員長)

答 出没状況は8月末現在で、猿が10件、イノシシが62件です。

被害額については、令和7年度の集計になりますが、猿が5万円、イノシシが82万円です。

問 今後の有害鳥獣の被害防止対策についてどのように考えているのか伺う。

答 有害鳥獣による被害をなくすことは難しい状況ですが、相談があった際には丁寧に対応し、引き続き被害の軽減に努めていきます。

道路管理事業について

【都市整備課】

問 道路維持に係る舗装や水路の修繕料であるとのことだが、今回の要求額の修繕箇所数について伺う。

答 21か所です。

問 修繕の優先順位はどのように決めているのか伺う。

答 現場の状況を確認し、限られた予算の範囲内で緊急度の高いものから実施しています。

議会改革調査特別委員会

を設置しました

発議第6号が可決されたことにより、直ちに議長から委員の指名があり、第1回の委員会を開催して正副委員長を決定しました。

【内容】

住民要望に即した適正な議会構成を実現するため、客観的データに基づいた議員定数の適正化、議会のチェック機能の維持、多様な人材確保のための調査研究を行う。また効率的な議会運営として、議会費等が適正な規模であるか検証する。

委員長 鶴 卷 裕 子
副委員長 佐 藤 良 徳
委員 阿 部 周 夫
委員 佐 藤 渉

委員 波 塚 静 亮
委員 大 橋 建 太
委員 小 林 泰 訓
委員 阪 井 明 子

一般質問

問

答

11人が市政を問う！

【一般質問とは】 各議員が市長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をただすことです。「議会だより」では限られた字数で広報委員会が編集しています。

編集方法は、本会議において各議員が行った一般質問の中から項目を1つに絞って編集を行っています。

質問、答弁の詳しい内容は会議録でご覧いただけます。今定例会の会議録は五泉市ホームページで12月頃から閲覧いただけます。



五泉市の
人口減少について

佐藤 渉 議員

問 五泉市の人口が近年約800人から900人減り続けている。この人口減少で特に注視しなければいけないことは少子化の問題である。出生数が平成30年から激減し、この出生数の一番の関心の深い合計特殊出生率が令和6年度は1を割り0.91で、令和5年度の1.14からかなり減少している。県内20市の中でも最下位、当局はこれに対してどう分析し、どう対応するのか伺う。

答 若年層の減少は結婚や出産を迎える世代そのものの減少につながり、結果として出生数の減少にもつながっている。若年層の社会減がその後の出生数の減少という自然減にも影響を及ぼすため、長期的な視点で子育て環境の充実などによる若い世代に選ばれるまちづくりを進め、一度市外に出た人にもやっぱり五泉に戻ろうと思ってもらえるようなまちづくりをつくっていく、その積み重ねが重要であると考えている。



防災・減災について

阿部 周夫 議員

問 令和8年熊本地震が7月に発生した。令和6年能登半島地震では、新潟県内でも多くの被害があり、五泉市内においても赤海寺沢周辺で多くの住宅が被災した。今後新潟県内でも大規模な地震が発生し、五泉市に壊滅的、甚大な被害を及ぼすことも想定される。今年の熊本地震や千葉県内の豪雨災害、福井での豪雨、過去に新潟県内で大きな被害をもたらした新潟地震、中越地震、東日本大震災、能登沖地震等々の地震や豪雨災害の自然災害を教訓に、五泉市の防災マニュアルの市職員や市民に対しての周知徹底が必要不可欠である。当局の見解を伺う。

答 被災害時に迅速かつ的確な対応を行うため、組織の部署ごとに役割を明確にした地域防災計画を基本とし、災害時職員初動マニュアルなどを十分に理解し、実践できるよう周知徹底を図る。今後も大規模地震等の教訓や最新の知見を踏まえ、地域防災計画や各種防災マニュアル内容を適宜見直し、職員の研修や訓練で市民への継続的な周知啓発を進め、防災、減災対策強化に取り組んでいく。



聴覚障がい者支援の 充実と手話言語条例の 制定について

鶴巻 裕子 議員

問 手話は、ろう者にとって人となりが、意思を伝え、情報を得るための大切な「言語」である。障害者基本法や手話施策推進法においても手話の重要性が位置付けられ、障害者差別解消法の改正により、事業者による合理的配慮も義務化された。県は平成29年に手話の普及の推進に関する条例を制定し、県内でも多くの自治体の手話言語条例を制定している。そこで当市の聴覚障がい者数と現状、今後の支援充実に向けた考えを伺う。また、手話への理解を広げ、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向け、手話言語条例を制定すべきと考えるが見解を伺う。

答 令和8年8月1日現在、聴覚障害による身体障害者手帳所持者は189人で、うち2級該当者は21人。支援としては手話奉仕員の派遣、補聴器購入・修理費の助成、防災行政無線等を文字で確認できる戸別受信機の貸与、NET119緊急通報システム等を実施している。今後は国の指針を踏まえ当市に適した支援の検討を進める。条例については、法律において項目が包括されていることから、条例の有無に関わらず、手話への理解促進、普及、更なる環境整備を図っていく。



市民の健康づくりと 教育の充実について

羽下 貢 議員

問 市民の健康づくりを推進していかなければならないが、市長の病状、災害が起きたときの口腔ケア問題はどうか。また、避難所の空調設備は被災された方々の健康にも関わってくる。エアコン整備はどのようにしていくのか。五泉市の子供たちの学力や学校の状況を伺う。

答 市長はメニエール病と診断されたが、投薬をし、指導を受けうまく付き合っている。市民が健康で心豊かに笑顔で暮らせるように日本生命の専門家より説明を受け検討、健康宣言をする準備をしている。口腔ケアは健康の質、寿命の延伸の上でも重要な取組で、対策を進めている。近年は猛暑が常態化しているため、避難所の体育館に空調設備を国の交付金を利用して整備を進めて行く。子供たちの学力は、全国テストの全教科で平均をやや下回る状況だった。長時間のメディア利用が課題と考える。どの学校も活気にあふれ、落ち着いて授業を受け、先生方も熱意に満ちあふれている。



村松公園・通学路周辺に おけるイノシシ等の被害対策 および公園整備について

桑原 一憲 議員

問 昨年の熊、今年はイノシシの出没が通学路や村松公園周辺で相次いでいる。児童生徒の安全確保に向けた学校と連携した即効性のある緊急対策を徹底すべき。また、村松公園の安全、衛生対策、環境整備を徹底し、重要な地域資源として保全すべき。さらに、先進地で導入されている初動対応・人材育成等を担うパトロール隊について、学校職員・担当課・猟友会それぞれの負担軽減と市民サービス向上のため導入すべきと考えるが、当局の見解を伺う。

答 児童生徒の安全確保に向け、目撃情報の速やかな周知と注意喚起について今年度即時性を改善、熊スプレーの配置等を推進している。村松公園の環境整備はシルバー人材センターへ委託し計画的に実施している。捕獲・防除対策については警察や猟友会等の関係機関と迅速に情報共有し対応しており、今後も先進地の先進事例を研究しながら、市の現状に即した有効な体制づくりを進めていく。



当市における公共工事 の状況について

小林 泰訓 議員

問 市内の公共工事のうち、国県の補助金や交付金を利用する工事と市単独で実施する工事の割合、及び発注時期について伺う。舗装や消雪パイプ、側溝工事などが7～9月に集中し、猛暑の中で現場作業員の負担が大きくなっていることから、発注時期を平準化できないか伺う。

答 令和8年度当初予算では、財政課発注工事の約4割、上下水道局発注工事の約1割が国県の補助金・交付金を活用している。必要な財源確保のため、総合会館大ホールや東公園ぼたん園改修事業について国等へ要望活動を実施し、整備を推進する。発注は早期化・平準化に努めているが、補助金の内定時期や積雪期、河川の出水期等により施工時期が限定される場合もある。近年の猛暑も踏まえ、適切な工期設定や工期の延伸・中止など柔軟に対応し、請負者の負担軽減に努める。



子どもに手厚い五泉市 の更なる飛躍について

阪井 明子 議員

問 五泉市は様々な子育て支援を行い、春からは出産祝い金を贈呈するなど子供に寄り添ったまちとして位置づけられつつある。子供の数は全国的に減っているが不登校が増えている状況をふまえ、文部科学省は学びの多様化学校の設置を進めている。今春から上越と小千谷に開校されたが、五泉市も検討しているか伺う。

答 五泉市の不登校児童の生徒数は令和8年7月末現在、小学生10人、中学生33人となっており、欠席がちである不登校傾向の児童生徒数は、同じく7月末現在で小学生29人、中学生34人となっていて、昨年と比較してほぼ横ばいの状況である。国、県の不登校対応マニュアルに沿って、不登校の未然防止及び早期対応を組織的に行っている。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門スタッフも関わりながら、一人一人に寄り添った支援を行っている。五泉、村松に1か所ずつ校外教育支援センターもあり、現在小・中学生21人が利用している。また、市内全7校の小・中学校に校内教育支援センターがあり38人が利用している。今年度、校内教育支援センターに配置する相談指導員の勤務時間を拡充し、支援体制の強化を図ったところである。



防災・減災について

山田 正良 議員

問 市の防災計画は、市役所職員が被災し、避難所運営や被災者支援に迫られた場合でも、他の自治体応援職員を速やかに受け入れ、住民対応を停滞させない体制になっているのか伺う。次に、避難所環境の整備について教育活動の安全、安心の確保と避難者の命と生活を守るため、学校体育館のエアコン整備を加速すべきと考えるが、所見を伺う。

答 災害対策本部を中心とした庁内の連絡体制や関係機関等との応援、協力体制を整えており、応援要請の基準や要請ルートは地域防災計画にて定められている。県や県内市町村からの応援を受けながら、早期の復旧、復興につなげていきたいと考えている。今後は、こうした既存の応援、受援体制をより実効性のあるものとするため、国の手引等を参考に、受援計画として整理していきたいと考えている。国でも避難所の生活環境改善として学校体育館等の空調整備を加速する方向性が示されているので、国の交付金を活用し、早期に整備を進めたいと考えている。計画の想定外の想定をした備えや避難行動が命を守る。自助、共助、公助も啓発をしながら進めていきたいと思う。



五泉市高齢福祉計画・第10期介護保険事業計画の課題について

波塚 静亮 議員

問 第10期介護保険事業計画の策定に向け、①次年度以降の国の介護政策の変更点、②計画の策定状況、③介護人材の確保・対策、④介護給付費準備基金の状況、⑤介護保険料の引下げについて伺う。

答 第10期計画では、2040年を見据え、地域の実情に応じたサービス提供体制の構築、地域包括ケアシステムの深化、介護人材確保・生産性向上等が重視される。計画は令和9～11年度を対象に策定中で、昨年度に市民・事業所向けアンケートを実施し、今年度は市民会議で意見を聴きながら、人口推計や必要サービス量、重点方針等を整理する。人材確保では資格取得支援や小中学校での出前授業を実施し、外国人介護職員の採用も増加している。基金残高は令和8年3月末で7億8,301万7,640円。保険料収入が見込みを上回り、介護サービス利用実績が計画を下回ったこと等から積立額が増加しており、次期保険料の低減に有効活用する。



子供の居場所について

白井 妙子 議員

問 共働きや核家族化が進む中、放課後や長期休業中に子供たちが安心・安全に過ごせる居場所が求められている。昨年開設された「ミライエ」にこのステーション」は好評を得ているが、村松地域の子供にとっては距離や交通手段の面で利用が困難である。地域での子育て環境のさらなる充実を図るため、村松地域にも子供が自力で通える居場所が必要と考えるが、市長の見解を伺う。

答 「ミライエ」は新潟県内初の官民連携・協働事業として開設され、幅広い世代の交流や憩いの場として利用が広がっている。利用者の約8割が市内の小学生だが、その中でも地域内にある五泉南小学校の児童、特に3年生の利用が多い状況であり、村松地域の児童の利用については、1割弱となっており、保護者等の送迎による利用が多いように感じる。村松地域の居場所については、学童クラブや寺子屋を利用している児童が5割を超える状況であるので、現状を踏まえながら今後検討していきたい。



子ども・若者の資格・検定取得への支援について

魚野 洋樹 議員

問 資格や検定への挑戦は、具体的な目標を設定し、その目標に向かって学習することで、成功体験となり、さらに次の目標へ進むことができる。また、英語はその人の将来の選択肢を広げる力になり得る。学校で身につけた力を確認し、次の目標を設定する一つの手段として資格や検定を活用することには意義がある。子供、若者が自ら目標を持って学び、挑戦できる環境をつくるため、市内の小中学生を対象とする資格や検定の受検料への補助について考えを伺う。

答 英検をはじめとする各種資格、検定の受検は、生徒の学習意欲の向上や目標に向かって挑戦する精神の育成につながる経験である。英検I・B・Aの結果から、英検3級程度の英語力を有する市内中学校3年生の割合は3割弱と考えている。県内では9つの市町村が主に英検の受検料の助成を行っている。助成を行っている市町村の状況を研究、分析し、今後の対応を検討していく。

当局報告

9月定例会において、市長から次のとおり議会で報告を受けました。

◆令和8年8月2日から4日にかけて発生した 強風による農作物被害について

発議について

— 次の発議を可決しました —

◆発議第6号

議会改革調査特別委員会の設置について

【内容】

住民要望に即した適正な議会構成を実現するため、客観的データに基づいた議員定数の適正化、議会のチェック機能の維持、多様な人材確保のための調査研究を行う。また効率的な議会運営として、議会費等が適正な規模であるか検証する。

提出者

阿部 周夫	剣持 雄吾	熊倉 政一	佐藤 渉	佐藤 浩
深井 邦彦	大橋 建太	鶴巻 裕子	小林 泰訓	魚野 洋樹

本会議のライブ配信を行っています

本会議開会中のみの配信となります。QRコードを読み取るか、**五泉市議会映像配信**で検索いただくと、議会中継のページをご覧いただけます。



市議会ホームページでは、議会だよりや議員名簿、議会の予定、議決結果など、五泉市議会の情報を発信しています。また、「会議録検索」をクリックすると、市議会本会議での会議録を閲覧することができます。

令和 7 年度 決算の概要

令和 7 年度の各会計の決算状況は次のとおりでした。

一般会計の決算状況を簡単にまとめると、令和 7 年度の一年間で、273億980万 3 千円の収入があり、264億5,260万 8 千円を支出しました。収支差引は 8 億5,719万 5 千円の黒字で、翌年度へ繰り越した事業の財源に926万 1 千円を充当したので、これを差し引きした実質収支は 8 億4,793万 4 千円になりました。

◆各会計の決算状況

(1 万円未満は四捨五入)

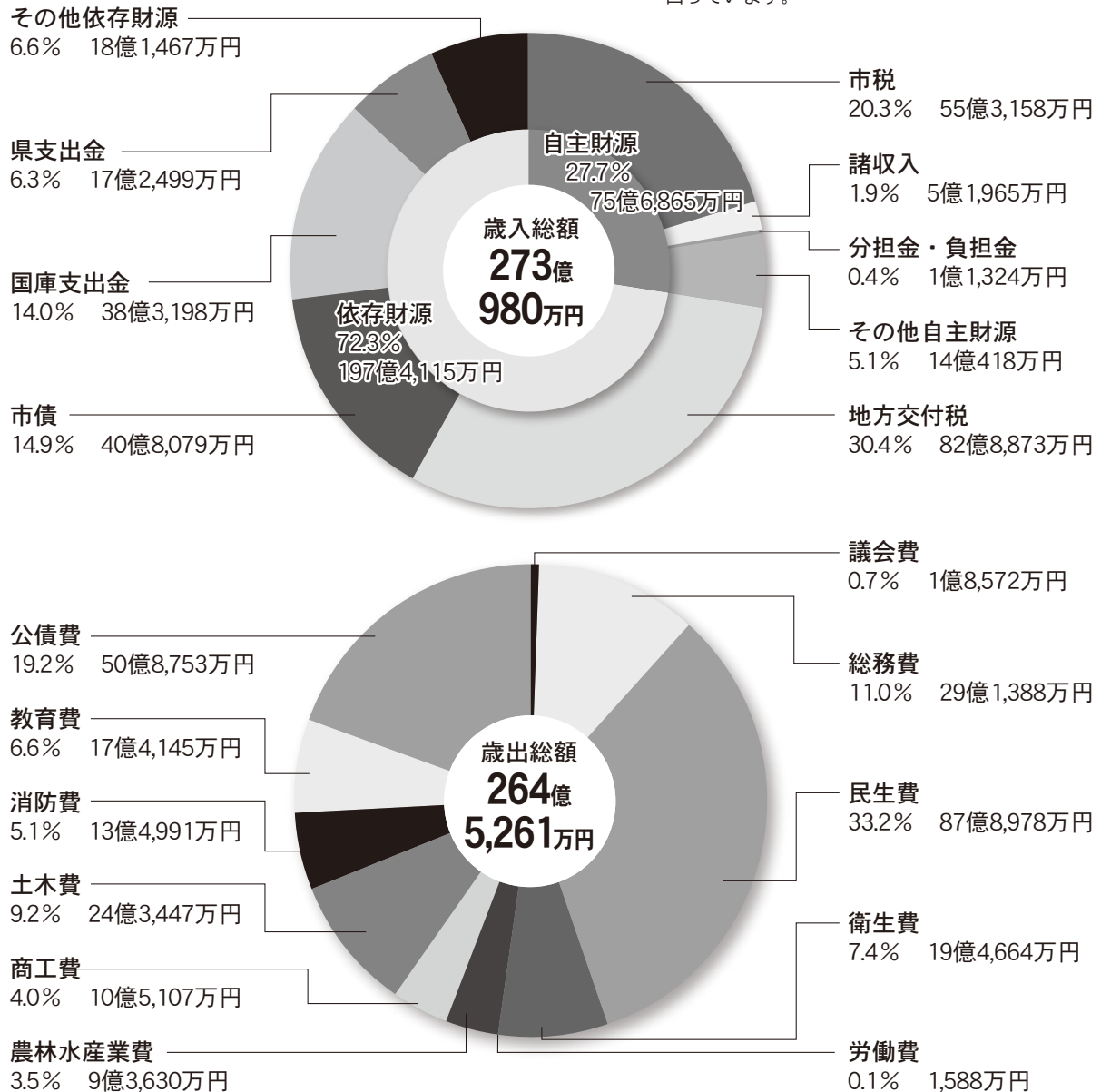
	一般会計	特 別 会 計				企 業 会 計					
		国民健康 保 険	介護保険	川東財産区	後期高齢者 医 療	水道事業（税込）			下水道事業（税込）		
歳入	273億 980万円	46億 3,595万円	61億 8,061万円	498万円	7億 6,243万円	収益的 収入	11億2,806万円	収益的 支出	10億9,094万円	13億9,192万円	13億6,904万円
歳出	264億 5,261万円	45億 8,481万円	60億 2,698万円	20万円	7億 4,019万円	資本的 収入※	2億9,516万円	資本的 収入※	6億8,959万円	10億4,979万円	17億300万円

※企業会計における資本的収支の収入不足額は、内部留保資金等で補てん。

◆一般会計の決算概要

(1万円未満は四捨五入のうえ調整)

●五泉市は、財政の健全化を判断する 4 つの指標（赤字や借金の返済、将来的負債等を示す比率）において、いずれの数値も黄色信号である早期健全化基準を下回っています。



※端数整理のため計数が一致しないことがあります。

主な議案の議決結果【第3回 9月定例会】

【○：賛成，●：反対，－：欠席】

提出者	審議案件		本会議議決結果	議案概要																			
				議員名（議席番号順）																			
				1 魚野 洋樹	2 阪井 明子	3 小林 泰訓	4 鶴巻 裕子	5 大橋 建太	6 佐藤 良徳	7 山田 正良	8 波塚 静亮	9 深井 邦彦	10 桑原 一憲	11 白井 妙子	12 佐藤 浩	13 長谷川 政弘	14 佐藤 渉	15 鈴木 良民	16 熊倉 政一	17 剣持 雄吾	18 羽下 貢	19 阿部 周夫	20 林 茂
市	議第54号	五泉市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議第55号	五泉市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※1	
	議第56号	五泉市認定地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議第57号	五泉市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議第58号	五泉市保育園条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※2 ○	
	議第59号	五泉市子どものための教育・保育に関する利用者負担額等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※1	
	議第60号	五泉市住居表示の実施に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議第61号	五泉市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※2 ○	
	議第62号	工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議第63号	令和8年度五泉市一般会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議第64号	令和8年度五泉市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議第65号	令和8年度五泉市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
	議第66号	令和8年度五泉市川東財産区一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議第67号	令和8年度五泉市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
	議第68号	令和8年度五泉市水道事業会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
	議第69号	令和8年度五泉市下水道事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
	議第70号	令和8年度五泉市一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	長	認定第1号	令和7年度五泉市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※1
		認定第2号	令和7年度五泉市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
		認定第3号	令和7年度五泉市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
認定第4号		令和7年度五泉市川東財産区一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第5号		令和7年度五泉市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
認定第6号		令和7年度五泉市水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
認定第7号		令和7年度五泉市下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
議員	発議第5号	議員定数に係る調査特別委員会の設置について	否決	●	○	●	●	●	○	○	●	○	○	●	○	●	●	●	○	○	○	○	
	発議第6号	議会改革調査特別委員会の設置について	可決	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	

※1 法律に特別の定めがある場合を除く外、地方自治法第116条の規定により、議長は表決に加わっていません。

※2 この議案は、議決に出席議員の3分の2以上の同意が必要な特別多数議決で、この場合は議長も表決に加わります。

令和8年度 五泉市消防団連合消防演習



編集後記

9月市議会定例会において、議会改革調査特別委員会を設置しました。目的は、議員定数及び議会費等に係る調査・研究となっており、その趣旨として住民要望に即した適正な議会構成を実現するため、客観的データに基づいた議員定数の適正化、議会のチェック機能の維持、多様な人材確保のための調査研究を行うこと、また、効率的な議会運営として議会費等が適正な規模であるかを検証することが掲げられております。今後の進捗については、議会、だよりを通じて市民の皆様に発信してまいります。

季節の変わり目につき、体調管理には十分に気を付けて、健やかな毎日をお過ごしください。

■広報委員会

委員長	佐藤 良徳
副委員長	佐藤 渉
委員	阿部 周夫
委員	桑原 一憲
委員	大橋 建太
委員	阪井 明子
委員	魚野 洋樹

議会に関するご意見・ご要望をお寄せください。 五泉市議会事務局 TEL 0250-43-3911